

[dōnk]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 津市東丸之内21-4 オーデンビル

3F/Siege : Oden Building 21-4

Higashi Marunouchi Tsu JAPON

N° 36 avril 1996 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〈Voyage imaginaire en Provence〉

「8時間で巡る南仏プロヴァンス夢の旅」

5月 J.ケルン夫人による仏語短期講座

この5月、武田治美さん（本会運営委員）ご夫妻の招きで津市に約1ヵ月滞在されるフランス人女性ジャクリーヌ・ケルンさんが、日本人にフランス語を教えることに大きな意欲を燃やしておられることから、三重日仏協会では今年度の追加事業として、初級・中級者を対象としたフランス語短期集中講座を開いていただくことにしました。ケルン夫人の構想によると、講座は通常の会話教室ではなく、彼女の住んでおられるマルセイユなど南フランス・プロヴァンス地方を想像上で楽しく旅行しながら、その美しい風物、歴史などを学び、そのなかで生きた日常のフランス語を習得していくというものです。この機会にぜひ受講してください。一般公開とします。

期 間 5月7日（水）～5月いっぱい

◆津 教 室 水曜・午後、木曜・午後と夜、金曜・午前と午後の5コース。

◆四日市教室 土曜・午前と午後の2コース。

受 講 料 1コース 2時間×4回 10,000円

時間割、会場など詳細についての問い合わせ、申し込みは

武田さん 0592-26-8540 喜田さん 0592-26-8088

四日市関係は 豊田さん 0593-51-3125 まで。



ジャクリーヌ・ケルン夫人

MADAME Jacqueline KERN

リヨン市生まれ。料理や音楽が得意な典型的なフランス家庭婦人ですが、マルセイユ大学の高名な物理学者である夫君レイモンド・ケルン教授と世界各地をおとずれ、すぐれた国際感覚を身に付けておられます。

私の語学遍歴

山中利之

学生時代、第二外国語としてロシア語を選択したのですが、これが全然ものにならず、強い第二外国語コンプレックスを自分自身に植え付けてしまいました。卒業を控えて公認会計士を志すようになり、青春時代の大事な時期を会計士の受験勉強だけに時間を費やすのはもったいないので、苦手意識のある第二外国語からドイツ語を選び、本来7科目ある会計士の受験科目に仮想の受験科目として加えて、平行して勉強しました。

その後、1987年の秋に10年後の世界会計士会議の開催地がパリに決まったため、フランスをもっと知りたいと思い、三重日仏協会主催のフランス語入門講座を受講したことが、フランス語に接する初めての機会となりました。武田治美さん、渡辺先生やダメモ先生に随分お世話になり、このままフランス語の勉強を継続できるものと思っていたのですが、三重県・河南省友好提携5周年記念訪中団の一員として鄭州、洛陽、北京の3都市を訪問したのが中国語に傾ききっかけとなってしまいました。

私の場合、遍歴というよりは、あっちへフラフラこっちへフラフラ千鳥足のように目標の定まらぬ語学学習です。もし、自分の職場が都会にあれば、ビジネスに直結する英語に時間を割かなければならないところ、三重県という田舎にいるせいか自分の気分のおもむくまま楽しく語学に親しんでいます。

習い初めはテキストの頁を繰る毎に自分の世界が広がり日々新たなりといった気分になります。1年も経つと中だるみ期に入り、進歩が自覚できなくなりますが、これは山登りにたとえれば、視界の全く効かない沢登り。でも、いつかは尾根に出て視野が急に開け、吹き抜ける涼風に汗も乾き爽快さを味わうことができます。実用レベルには至らなくても、このような爽快感が語学学習の醍醐味だと思います。語学の効用はこれだけではありません。語学の勉強を通じて自分の心の中にいくつもの小世界を作り、仕事に疲れたとき、困難にぶち当たったときにそこにしばらく逃げ込んだり、休息を取ったり、遊んだり結構ストレス解消になるものです。

秋にドイツのある街を訪れたとき、街路樹から舞い落ちる葉を見て、Die Blätter fallen, fallen wie von weit...と口ずさめば、並んで歩く現地の友人が、Als welkten in den Himmeln ferne Gärten;と続ける。このような至福の一瞬は一枚の絵のようにいつまでも記憶に残ります。

また、国際会議に出席して初めて分かったことですが、出席者のネームタグが使用言語により色分けされていて、昼食時に何色が横に座るかで食事の味が変わってくるのも面白い現象です。その色が少しでもかじったことのある言葉を表していると同胞に出会ったような親しみを感じます。

年齢が高くなるにつれて記憶力を頼りにする語学の学習はしんどくなりますが、一方では realiaに関する知

識の蓄積により、理解度は増す面もあります。これからも「愚公移山」に倣って、じっくりとマイペースで行きたいと思います。

いままでDONCに文章を載せた人でフランスに行ったことのないというのは、おそらく私一人ではないでしょうか。フランスについて語るネタも持ち合わせていません。フランス語に関することも書いてみよう頑張ってみたのですが、ドイツ語しか出てきませんでした。今やヨーロッパはEUの時代、どうか大目に見て下さい。

註 本文中に掲げたドイツ語は、R.M.リルケの『形象集』収められてる「秋」という有名な詩の冒頭の2行です。その全部の日本語訳（富士川英郎訳『リルケ詩集』新潮文庫）は次のとおりです。

「木の葉が落ちる 落ちる 遠くからのように
大空の遠い園生が枯れたように
木の葉は否定の身ぶりで落ちる

そして夜夜には 重たい地球が
あらゆる星の群から 寂寥のなかへ落ちる

われわれはみんな落ちる この手も落ちる
ほかをごらん 落下はすべてにあるのだ

けれども ただひとり この落下を
限りなくやさしく その両手に支えている者がある」

この詩は、まず具象的に木の葉の落下をうたい、逃れられない死と透徹した孤独をあらわします。しかし、詩の末尾に来ると、孤独の闇の底へと落ちていくすべてのをしっかりとやさしく支える者の「存在」が示されます。

冷たさ、孤独、虚無と暖かみ、安らぎ、充実を同時に感じさせる不思議な詩です。

フランスの女

UNE FEMME FRANCAISE

フランス映画

レジス・ヴァルニエ監督 エマニュエル・ベアール主演

6月2日(日) 津シネマ・フレンズ例会

津リージョンプラザお城ホール 前売 1,300円 当日 1,600円

上映時間 11:20 13:15 15:10 17:05 19:00

フランス語入門講座 開催中

1995年度のフランス語入門講座は3月11日から12回、今回も津市のオーデンビルで開催、定員いっぱいの15人が受講しています。講師はジャン＝フランソワ・ダメモ氏。

予 告

大廣朋子ピアノリサイタル (後援事業)

5月31日(金) PM7:00

津リージョンプラザ お城ホール 2,500円

バッハ：フランス組曲 第5番

ショパン：ピアノソナタ 第2番

ドビュッシー：映像 第2集 ほか

※大廣さんのご好意により、三重日仏協会会員および〈donc〉読者には優待券がいただけるそうです。大廣さん 0592-27-0802 へ直接問い合わせてください。

寄贈書籍

『我が友ジャン・ムーラン』 ピエール・ムニエ著 福本秀子訳

レジスタンスの英雄の生と死 発行＝東洋書林 2,000円

〈JEAN MOULIN, MON AMI〉 Pierre MEUNIER

第二次大戦中のフランスの対ナチ抵抗運動「レジスタンス」は、政治的にも地域的にもさまざまな諸勢力が困難のなかで連絡し、統一して戦った壮大な闘争でありましたが、その第一回全国抵抗評議会C.N.Rの議長をつとめ、活動の合同統一に大きな力をつくしたジャン・ムーラン（1943年6月ナチの拷問により死去）の活躍と、当時の運動の複雑で厳しい経過を、彼の補佐役として10年間をともに過ごしたピエール・ムニエ氏（現在87歳、元アルネ・ル・デュック市市長……ブルゴーニュ地方）が、長い沈黙を破って語ります。1989年、本会の招きで津市で講演されたアンドレ・トレさん（パリ・レジスタンス博物館館長）もちらりと出てきます。

本会会員で、ブルゴーニュ地方と関わりの深い佐多保彦氏（東京在住）が、この本の日本での出版実現に大きな力を尽くされました。佐多氏から本会に寄贈された一冊が事務局にあります。関心のある方は遠慮なく申し込んでください。

『楽しい食卓』 〈EI Sabor Mundial〉 グルッポ・ヒラソル刊

在日外国人のための料理手帳。英語、スペイン語、日本語で世界の家庭料理約100種類の調理法が書かれています。インターナショナル・ルイ企画よりの寄贈。

〈LABEL FRANCE〉 N°23 フランス外務省発行（フランス語）

特集 Les coulisses de la haute couture

〈フランス便り〉 1. 2. 3月号 フランス大使館広報部発行

〈OVNI〉 オヴニー・パリの新聞 N°367～370